

高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第9期〕）令和7年度実績

- 1 目次【1ページ】
 2 指標の取組状況【2ページ】
 3 シートの見方【3ページ】
 4 各施策の取組状況【4～24ページ】

基本目標	基本施策	施策	担当課	ページ
基本目標 1 健康で生きがいに満ちた暮らし	1 健康長寿へのチャレンジ	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進	地域包括ケア推進課	4(左)
		(2) 地域で取り組む健康チャレンジ	保険年金課、地域包括ケア推進課、健康課	4(右)
	2生涯現役社会による生きがいづくりの推進	(1) 地域における高齢者の生きがい・健康づくり	高齢福祉課	7(左)
		(2) 多様な働き方への支援	高齢福祉課、産業振興課	7(右)
基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活	1 地域ネットワークの充実	(1) 高齢者よろず相談センターの機能強化	地域包括ケア推進課	8
		(2) 地域資源との連携強化	地域包括ケア推進課、福祉総務課、高齢福祉課	9
	2医療・介護連携の推進	(1) 医療・介護連携推進のための支援	地域包括ケア推進課	10
	3認知症支援策の推進	(1) 認知症理解のための普及・啓発	高齢福祉課	11
		(2) 認知症予防施策の充実	高齢福祉課	12(左)
		(3) 認知症に対する早期対応体制の整備	高齢福祉課	12(右)
		(4) 認知症高齢者の見守り支援	高齢福祉課	13
	4 高齢者生活支援体制の構築	(1) 生活の安心・安全確保	高齢福祉課、福祉総務課、収集業務課、交通政策課	14
		(2) 要介護者及び家族介護者への支援	高齢福祉課	15
	5 高齢者居住安定確保の推進	(1) 良質な高齢者向け住まいの供給促進	高齢福祉課	16
		(2) 高齢者が円滑に入居できる体制づくり	高齢福祉課、建築住宅課	17
基本目標 3 いのちと権利を見守る地域社会	1 孤立死の防止に向けた取組の充実	(1) 見守り活動の推進	高齢福祉課、市民情報・相談課	18
	2権利擁護事業の充実	(1) 日常生活を支える権利擁護事業の推進	高齢福祉課、福祉総務課	19
		(2) 高齢者虐待防止の一層の推進	高齢福祉課、介護保険課	20
	3災害に対する取組の推進	(1) 避難行動要支援者への支援	災害対策課、福祉総務課、高齢福祉課、地域包括ケア推進課、障がい福祉課、介護保険課	21(左)
		(2) 避難体制への支援	高齢福祉課、地域包括ケア推進課、介護保険課、災害対策課	21(右)
基本目標 4 人に寄り添う介護サービス	1 介護保険事業の円滑な実施	(1) 情報提供の充実	介護保険課、地域包括ケア推進課	22
		(2) 介護サービスの質の向上	介護保険課	23
		(3) 介護人材の確保及び介護現場の生産性向上	介護保険課、産業振興課	24

<基本目標>

基本目標	成果指標	区分	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
1 健康で生きがいに満ちた暮らし	初回要介護認定申請の平均年齢	目標値	－	79. 7歳	79. 8歳	79. 9歳	
		実績	79. 6歳	79. 9歳	80.3歳		
2 住み慣れた地域で安心のある生活	在宅で介護を受ける高齢者の割合	目標値	－	68. 7%	68. 7%	68. 7%	
		実績	68. 7%	69. 7%	集計中		
3 いのちと権利を見守る地域社会	高齢者虐待に関する通報件数に占める虐待として認定した件数の割合※	目標値	－	15%	15%	15%	
		実績	16%	7.3%	9.5%		
4 人に寄り添う介護サービス	「人材不足を感じたことがない」「あまり感じたことがない」介護事業所の割合	目標値	－	20. 4%	20. 4%	20. 4%	
		実績	20. 4%	－	19.0%	－	アンケート調査時の実績を記載

※高齢者虐待に関する普及啓発・相談体制の充実により、虐待が疑われる小さな事象でも通報へつなげ、虐待に至る前に早期発見し、未然に防ぐことで、虐待として認定した割合を低くすることを指標としています。

<施策>

基本施策	施策	事業数	指標の設定		進捗状況			
			あり	なし	指標数	予定どおり	若干遅れている	遅れている
1－1 健康長寿へのチャレンジ	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進	7	7	0	7	5	2	0
	(2) 地域で取り組む健康チャレンジ	19	17	2	27	18	3	6
1－2 生涯現役社会による生きがいづくりの推進	(1) 地域における高齢者の生きがい・健康づくり	2	2	0	2	1	0	1
	(2) 多様な働き方への支援	3	3	0	4	2	2	0
2－1 地域ネットワークの充実	(1) 高齢者よろず相談センターの機能強化	8	8	0	8	8	0	0
	(2) 地域資源との連携強化	4	4	0	6	3	1	2
2－2 医療・介護連携の推進	(1) 医療・介護連携推進のための支援	9	8	1	9	9	0	0
2－3 認知症支援策の推進	(1) 認知症理解のための普及・啓発	2	2	0	4	4	0	0
	(2) 認知症予防施策の充実	2	2	0	4	3	1	0
	(3) 認知症に対する早期対応体制の整備	3	3	0	3	3	0	0
	(4) 認知症高齢者の見守り支援	5	5	0	6	6	0	0
2－4 高齢者生活支援体制の構築	(1) 生活の安心・安全確保	10	10	0	12	6	3	3
	(2) 要介護者及び家族介護者への支援	5	5	0	8	7	1	0
2－5 高齢者居住安定確保の推進	(1) 良質な高齢者向け住まいの供給促進	1	0	1	0	0	0	0
	(2) 高齢者が円滑に入居できる体制づくり	4	4	0	5	5	0	0
3－1 孤立死の防止に向けた取組の充実	(1) 見守り活動の推進	3	2	1	2	2	0	0
3－2 権利擁護事業の充実	(1) 日常生活を支える権利擁護事業の推進	4	3	1	4	4	0	0
	(2) 高齢者虐待防止の一層の推進	7	5	2	5	5	0	0
3－3 災害に対する取組の推進	(1) 避難行動要支援者への支援	2	1	1	1	1	0	0
	(2) 避難体制への支援	1	0	1	0	0	0	0
4－1 介護保険事業の円滑な実施	(1) 情報提供の充実	2	1	1	1	1	0	0
	(2) 介護サービスの質の向上	6	4	2	6	4	0	2
	(3) 介護人材の確保及び介護現場の生産性向上	10	9	1	9	3	2	4
計		119	105	14	133	100	15	18

シートの見方

基本目標 3 いのちと権利を見守る地域社会

基本施策 1 孤立死の防止に向けた取組の充実

③

施策（1）見守り活動の推進

孤立死を防止するため、見守り事業を充実させるとともに、住民同士の助け合いや企業等の地域社会への貢献を促し、日頃から地域での見守り活動を支援します。

②
 担当課 高齢福祉課、市民情報・相談課

①
 計画書 P〇～

④
 取組結果

⑤
 課題及び対応策

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア ひとり暮らし調査の実施	調査回数	＝	1回	1回	1回
	実績	⑧	1回		
	進捗状況	－	予定どおり		
イ 新たな見守り体制の構築	R6実績		⑨		
	R7実績				
	R8実績				
ウ 高齢者の消費者被害の未然防止	啓発チラシの発行	－	2回以上	2回以上	2回以上
	実績	3回	2回		
	進捗状況	－	予定どおり		

- ① 計画書
 - ・施策、事業の高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第9期〕）の掲載ページを記載しています。
- ② 担当課
 - ・施策、事業の所管課を記載しています。
- ③ 施策
 - ・施策の取組の方向性を記載しています。
- ④ 取組結果
 - ・施策に位置付けた重点事業、中心事業の実績を記載
- ⑤ 課題と対応策
 - ・「取組結果」に記載した事業の課題及び対応策を記載しています。
- ⑥ 指標
 - ・事業の進捗状況を測る基準を記載しています。
- ⑦ 実績（事業量設定あり）
 - ・令和7年度の指標の実績を記載しています。
- ⑧ 進捗状況
 - ・事業量の進捗状況を記載しています。
 - 「予定どおり」：事業量が目標の90%以上実施できている場合
 - 「若干遅れている」：事業量が目標の70%以上90%未満の場合
 - 「遅れている」：事業量が目標の70%に達しない場合
 - ・事業量が目標の90%を下回る場合でも、取組が順調に進行している場合は「予定どおり」としています。
- ⑨ R 7 実績（事業量設定なし）
 - 事業量を設定していない事業は、取組結果を記載しています。

3

基本目標 1 健康で生きがいに満ちた暮らし

基本施策 1 健康長寿へのチャレンジ

担当課 地域包括ケア推進課

施策（1）介護予防・日常生活支援総合事業の推進

総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）は、基本チェックリストにより、支援が必要であると判定された方や要介護認定で要支援と認定された方等（以下「要支援者等」といいます。）が対象となる「介護予防・生活支援サービス事業」と65歳以上の全ての方が対象となる「一般介護予防事業」で構成され、様々な支援者やサービス間の連携や連動のもと、高齢者の日常生活の自立や介護予防を支援します。

取組結果
介護予防・生活支援サービス事業（ア～キ） サービス事業者等と連携し、適切に各種サービスを提供しました。
課題及び対応策
介護予防・生活支援サービス事業（ア～キ） 要支援者等の状況を適切に把握し、自立した生活ができるようなケアマネジメントが可能となるようにサービス従事者のスキルアップが必要となります。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア 従前の訪問介護相当サービス	延べ利用件数	－	12,586件	12,799件	13,016件
	実績	12,157件	14,624件	15,506件	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ 訪問型サービスA	延べ利用件数	－	18,474件	18,714件	18,957件
	実績	18,237件	16,255件	12,481件	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ 訪問型サービスB	延べ利用件数	－	1,028件	1,048件	1,068件
	実績	989件	730件	886件	
	進捗状況	－	若干遅れている	若干遅れている	
エ 従前の通所介護相当サービス	延べ利用件数	－	74,780件	78,862件	83,167件
	実績	67,239件	72,660件	72,280件	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
オ 通所型サービスC	延べ利用件数	－	432人	432人	432人
	実績	213人	283人	272人	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
カ 介護予防ケアマネジメント	延べ実施件数	－	12,175件	12,777件	13,409件
	実績	11,054件	11,180件	10,417件	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
キ 介護予防ケアマネジメント効果検討事業	ヒアリング回数	－	13回	13回	13回
	実績	13回	13回	13回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 1 健康で生きがいに満ちた暮らし

基本施策 1 健康長寿へのチャレンジ

担当課 保険年金課、地域包括ケア推進課、健康課

施策（2）地域で取り組む健康チャレンジ

健康チャレンジとは、「要介護状態になることをできる限り防ぐこと、そして要介護状態になっても状態がそれ以上に悪化しないようにすること」を目指すものであり、若いころから健康増進や生活習慣病予防に努め、高齢者となっても介護予防に継続的に取り組む必要があります。このため、令和2年度から実施している「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の体制等において、健康増進と介護予防に関する効果的かつ包括的な事業の連携及び取組を進めます。

取組結果
エ 健康チャレンジ普及啓発事業 フレイル予防セミナーに115人、オーラルフレイル予防講座に62人、よろず相談センターから依頼があった健康教育に92人参加があり、地域住民がフレイルの知識を身につけることで、高齢者の健康増進を図ることができましたが、開催回数、参加者数は目標値に届きませんでした。 オ 健康チャレンジに取り組むための通いの場（サロン）の開催支援【重点事業】 補助金交付による活動経費の一部支援や、介護予防活動の実践方法等を掲載した「健康チャレンジ教本」の提供により、各団体の主体的かつ継続的な取組を促しました。通いの場への延べ参加者数は189,471人でした。 コ フレイル対策推進事業【重点事業】 フレイルサポーター養成講座に19人、フレイルチェックに678人、カムカム教室に190人（実施回数は19回）、フレイル予防セミナーに115人（開催回数1回）参加があり、フレイルの普及啓発を図ることで、高齢者自身の健康の「気づき」を促し健康増進に繋げていくことができました。 ス 健康診査等 集団がん検診において、予約が埋まりにくい年度当初および年度末の開催日程を見直し、開催回数を年間26回に設定しました。若年層の利便性を高めるWeb予約の導入や、受診しやすいパッケージ型検診の実施などの改善を図りましたが、受診者数は令和6年度の53,459人に対し、令和7年度は51,145人と減少する結果となりました。 ソ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施【重点事業】 後期高齢者健康診査結果からフレイルハイリスク者を抽出し452人に支援を実施しました。また、地域の場を活用した健康情報の発信や普及啓発、必要な方への受診勧奨などを1,389人に実施しました。高齢者が自分自身のフレイルに早期に気づき、フレイル改善に向けた行動を促すきっかけとなるよう支援しました。 タ 健康相談 R7年度は開催回数37回であり概ね予定通りの開催でしたが、相談者数が年々減少してきています。若い世代からの生活習慣病の予防に向けて職域との連携を始めています。 チ 健康教育 市単独で実施していた専門医の健康講話を、市民病院が開催する市民公開講座と共催で開催するように見直したため、開催回数が1回となりましたが、市民病院の医師の講話と保健師の予防の話しを同時に行ったため参加者の満足度をあげることができました。

課題及び対応策	
エ	健康チャレンジ普及啓発事業 フレイル予防セミナーやオーラルフレイル予防講座を様々な協力団体に周知し、フレイルの普及啓発を図っていきます。また、健康教育について高齢者よろず相談センターに周知するとともに、活用に向けて働きかけていきます。
オ	健康チャレンジに取り組むための通いの場（サロン）の開催支援【重点事業】 延べ参加人数が目標に達しなかったことが課題です。継続的な取組を促すため、引き続き支援を行います。補助金交付及び教本の提供を継続するほか、本市が実施するもので介護予防等に資するその他事業を各団体に案内します。各団体が行う活動の効果を高めることで、参加者にも継続して通ってもらうことを目指します。
コ	フレイル対策推進事業【重点事業】 高齢者のフレイル改善に効果的な取組を促すため、三位一体（食、口腔、運動、社会参加）のフレイル予防に加え、オーラルフレイル予防、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の観点から各種データを踏まえた事業を展開していきます。また、バスのデジタルサンネージ等の広告で普及啓発を図っていきます。
ス	健康診査等 効果的ながん検診実施に向け、開催会場や時間の見直しを行うとともに、個別検診の充実を行います。またWeb予約の周知を行い若い世代が受けやすい検診環境を整えていきます。
ソ	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施【重点事業】 今後も地域場を活用した健康情報の発信や、必要な方への受診勧奨などの普及啓発の機会を確保するため、高齢者よろず相談センターや地域の関係団体等に周知していきます。後期高齢者健康診査結果からのフレイルハイリスク者の抽出及び支援は同規模で継続していくことを目指します。
タ	健康相談 働く世代が自分の身体に関心をもち、生活習慣を振り返るきっかけを作ることが必要です。職域と連携した取り組みを拡充していきます。
チ	健康教育 市開催の教室を見直し、地域の団体やイベントなどと連携し、市民が集まる場に出向いた活動を進めていきます。

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	健康チャレンジ高齢者把握事業	事業対象者数	－	152人	174人	200人
		実績	－	51人	42人	
		進捗状況	－	遅れている	遅れている	
イ	地域リハビリテーション活動支援事業	支援回数	－	25回	25回	25回
		実績	12回	29回	26回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ	健康チャレンジ事業評価事業	開催回数	－	2回	2回	2回
		実績	2回	2回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ	健康チャレンジ普及啓発事業	開催数	－	16回	16回	16回
		実績	15回	9回	7回	
		進捗状況	－	遅れている	遅れている	
		延べ参加者数	－	400人	400人	400人
		実績	300人	183人	269人	
オ	健康チャレンジに取り組むための通いの場（サロン）の開催支援【重点事業】	進捗状況	－	遅れている	遅れている	
		延べ参加者数	－	182,000人	198,000人	214,000人
		実績	155,178人	177,927人	189,471人	
カ	健康チャレンジリーダー育成事業	R6実績	令和6年度から「フレイルサポーター養成事業」と統合しました。			
		R7実績				
		R8実績				
キ	健康チャレンジ地域活動支援事業	講師の派遣	－	10回	10回	10回
		実績	－	10回	4回	
		進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
ク	健康チャレンジ食生活改善事業	支援件数	－	10回	15件	20件
		実績	－	12回	12回	
		進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
ケ	ひらつか元気応援ポイント事業	活動者数	－	137人	152人	167人
		実績	122人	165人	224人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
コ	フレイル対策推進事業【重点事業】	フレイルチェック参加者数【累計】	－	1,515人	2,020人	2,525人
		実績	505人	1,779人	2,457人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
サ	フレイルサポーター養成事業	養成者数	－	20人	20人	20人
		実績	20人	10人	19人	
		進捗状況	－	遅れている	予定どおり	
シ	通いの場（サロン）等におけるICTを活用したつながり促進事業	講座開催数	－	4回	4回	4回
		実績	8回	4回	0回	
		進捗状況	－	予定どおり	遅れている	

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ス	健康診査等	がん集団検診実施回数	－	年34回	年35回	年36回
		実績	年32回	34回	26回	
		進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
		がん検診個別通知	－	年1回	年1回	年1回
		実績	年1回	1回	1回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		成人歯科健診個別通知	－	年1回	年1回	年1回
		実績	年1回	1回	1回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		肝炎ウイルス検診個別通知	－	年1回	年1回	年1回
		実績	年1回	1回	1回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		国民健康保険特定健診受診率	－	38. 4%	39. 4%	40. 4%
		実績	36. 4%	36.7%	37.3% (R8.5月速報値)	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		国民健康保険特定保健指導実施率	－	18. 5%	19. 3%	20. 1%
		実績	17. 5%	19.5%	19.5% (R8.5月末時点)	
		進捗状況	－	若干遅れている	予定どおり	
セ	生活習慣病重症化予防事業	R6実績	・糖尿病及び高血圧等の重症化予防のための保健指導 特定健康診査受診者：4 0 9 人 後期高齢者健康診査受診者：1 1 9 人 ・糖尿病性腎症のための病診連携・健康相談 （令和7年5月現在の暫定値） 特定健康診査受診者： 146人 後期高齢者健康診査受診者：14人			
		R7実績	・糖尿病及び高血圧等の重症化予防のための保健指導 （令和8年5月現在の暫定値） 国保：360人 後期：170人 ・糖尿病性腎症のための病診連携・健康相談 （令和8年5月現在の暫定値） 国保：161人 後期：19人			
		R8実績				
ソ	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施【重点事業】	支援件数	－	1,800件	1,800件	1,800件
		実績	－	1,576件	1,841件	
		進捗状況	－	若干遅れている	予定どおり	
タ	健康相談	開催回数	－	38回	38回	38回
		実績	38回	34回	37回	
		進捗状況	－	若干遅れている	予定どおり	

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
チ	健康教育	専門店による健康講話：実施回数	－	5回	5回	5回
		実績	5回	4回	1回	
		進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
		運動や食生活改善等に関する集団健康教育：実施回数	－	22回	22回	22回
		実績	33回	25回	24回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ツ	地区組織活動・健康づくり推進事業・栄養改善指導事業	健康推進員養成講座実施回数	－	8回	8回	8回
		実績	8回	8回	8回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		健康推進員育成講座実施回数	－	4回	4回	4回
		実績	4回	3回	3回	
		進捗状況	－	若干遅れている	若干遅れている	
		食生活改善推進員養成講座実施回数	－	8回	8回	8回
		実績	8回	8回	8回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		食生活改善推進員団体定例会実施回数	－	3回	3回	3回
テ	骨密度測定の推進	実績	3回	3回	3回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		骨密度測定参加者	－	210人	215人	220人
		実績	203人	445人	307人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 1 健康で生きがいに満ちた暮らし
基本施策 2 生涯現役社会における生きがいづくりの推進

担当課 高齢福祉課

施策（1）地域における高齢者の生きがい・健康づくり

高齢者が増えていく中で、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を推進するとともに、地域社会の担い手として期待されているゆめクラブの活動のほか、地域におけるボランティア活動等に対し支援を行います。

取組結果

ア 地域における高齢者の生きがい・健康づくり

ゆめクラブ湘南平塚が実施するリーダー研修会、女性部役員研修会（2回）、理事研修会の開催を支援し、高齢者の知識や技能を高めました。

イ ゆめクラブへの支援

ゆめクラブ湘南平塚との共催で福祉大会やスポーツ大会などを開催し、会員の社会参加、クラブの活性化を図りました。また、県の支援制度の周知等により奉仕活動への取組を促し、66の友愛チームが地域の清掃活動や高齢者の自宅の訪問による見守り活動などに取り組みました。

課題及び対応策

ア 地域における高齢者の生きがい・健康づくり

地域における社会参加をさらに促進するため、ゆめクラブ湘南平塚を通じて高齢者の学習ニーズに応じた多様なテーマの研修や教室を開催します。

イ ゆめクラブへの支援

会員の高齢化が進み、クラブリーダーの担い手が不在であることや会員数の減少を理由に解散するクラブが毎年度生じています。地域における高齢者の活躍の場が失われないよう、引き続き、老人クラブとの意見交換を継続し、維持存続に向けた課題の解決を支援します。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	地域における高齢者の生きがい・健康づくり	開催回数	－	4回	6回	8回
		実績	－	4回	4回	
		進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
イ	ゆめクラブへの支援	友愛チーム数	－	61チーム	61チーム	61チーム
		実績	48チーム	62チーム	66チーム	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 1 健康で生きがいに満ちた暮らし

基本施策 2 生涯現役社会における生きがいづくりの推進

担当課 高齢福祉課、産業振興課

施策（2）多様な働き方への支援

高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かし、積極的に社会参加することにより、生きがいの充実を図ることができるよう、アクティブシニア等への情報提供など、ライフスタイルに合った多様な就業のための支援を行います。

取組結果

ア ハローワーク及び生きがい事業団等との就労ネットワーク【重点事業】

平塚公共職業安定所、平塚市生きがい事業団、高齢者採用に積極的な企業と連携して「シニア向け就労支援セミナー・個別相談会」を年2回開催しました。第1回（11月）は28人、第2回（2月）は30人、延べ58人の参加があり、高齢者の就労への契機となりました。

ウ 生きがい事業団への支援【重点事業】

年8回、市役所1階多目的スペースに「生きがい事業団出張所」を設け、会員が作製した小物や木工品等の販売のほか、入会相談、事業団での働き方の紹介動画の上映、仕事の依頼相談等、事業団の様々な活動の周知する機会を提供しました。また、知識や経験がある会員が講師を務める各種教室の開催を広報紙やホームページを活用し周知しました。

課題及び対応策

ア ハローワーク及び生きがい事業団等との就労ネットワーク【重点事業】

高齢者が就労する機会を増やすために、多様な職種の企業に参加してもらう必要があります。ハローワーク及び平塚市生きがい事業団と連携し、いろいろな職種の企業にセミナーへ参加いただけるよう対応します。

ウ 生きがい事業団への支援【重点事業】

企業等からの多種多様な依頼に対応するために、様々な知識と経験のある会員を増やす必要があります。活動を通じ、平塚市生きがい事業団をより多くの高齢者に認知してもらうよう周知方法を検討します。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	ハローワーク及び生きがい事業団等との就労ネットワーク【重点事業】	セミナー開催数	－	2回	2回	2回
		実績	2回	2回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		延べ参加者数	－	60人	65人	70人
		実績	53人	60人	58人	
		進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
イ	高齢者の雇用・就労支援情報の発信	「ひらつが労働ニュース」による周知	－	年1回以上	年1回以上	年1回以上
		実績	年2回	2回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ	生きがい事業団への支援【重点事業】	延べ就業人数	－	144,000人	146,000人	148,000人
		実績	133,117人	130,557人	121,683人	
		進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 1 地域ネットワークの充実

担当課	地域包括ケア推進課
-----	-----------

施策（1）高齢者よろず相談センターの機能強化

高齢者よろず相談センターは、地域包括ケアシステムの中核的な機関の役割を担い、地域住民や各種団体、医療機関、介護サービス事業者等と連携し、高齢者を包括的に支援します。高齢者それぞれに適した支援を行うために、介護保険サービスや生活支援サービスなどの公的サービスだけでなく、身近な地域のボランティア団体などのインフォーマルサービスも受けられるように、日頃から地域の情報収集に取り組みます。 本市は、地域包括ケアシステムの深化・推進のために、高齢者よろず相談センターの機能を強化する各種事業を推進します。また、増加する複雑化・複合化するケースについて、重層的支援体制整備事業により、各分野のスムーズな連携を目指します。

取組結果
ウ 高齢者よろず相談センター向け研修 高齢者やその家族からの多様な相談に対し、高齢者よろず相談センターの専門職が専門性を活かしながら連携して対応できるように、各職種別の研修を実施しました。多職種・関係機関とも連携の強化が取れるように、基幹型包括が中心となり、必要に応じて、高齢者よろず相談センターと各機関との橋渡しを行いました。また、地域診断や相談内容から、高齢者よろず相談センターが地域課題を把握し、地域に根差した相談体制が取れるように支援しました。 オ 高齢者よろず相談センターの運営支援 高齢者よろず相談センターの適切な運営のため、様々な視点からの意見をいただくため、「地域包括支援センター運営協議会」2回開催しました。会議では、高齢者よろず相談センターから、「高齢者のみの世帯について早期に問題を把握する事が難しい」との意見があり、各委員との意見交換を行いました。
課題及び対応策
ウ 高齢者よろず相談センター向け研修 相談内容が複雑化・多様化しています。また、専門職の確保・育成、高齢者よろず相談センターの業務負担の増大などが課題となっています。そのため、今後も、研修などの人材育成の支援や、ICTの活用による業務負担の軽減などを継続的に支援していく必要があります。 オ 高齢者よろず相談センターの運営支援 開催の指標は3回となっていますが、協議事項の内容や検討事項の進捗状況を踏まえ、開催回数を2回としました。会議開催数を2回としても会議での活発な意見交換ができたことから、質の担保ができていると判断しました。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア 高齢者よろず相談センターの認知度の向上	広報誌の配布、地域の人が50人以上集まるイベントへの参加	－	40回	45回	50回
	実績	38回	148回	161回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ ケアマネジャーとの連携強化の支援	基幹型センターと主任ケアマネ連絡会による企画実施	－	1回	1回	1回
	実績	－	1回	1回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ 高齢者よろず相談センター向け研修	研修会開催回数	－	4回	4回	4回
	実績	2回	7回	15回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ 高齢者よろず相談センターが開催する講座及びサロンの開催支援	講座・サロン開催支援箇所	－	30か所	30か所	30か所
	実績	26か所	40か所	49か所	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
オ 高齢者よろず相談センターの運営支援	開催回数	－	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	2回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
カ 事業者運営指導の実施	運営指導箇所	－	2か所	2か所	2か所
	実績	2か所	2か所	3か所	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
キ 基幹型地域包括支援センターの設置【重点事業】	基幹型センター設置	－	計画期間中に1か所設置		
	実績	－	設置	設置済	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ク 安全性確保及びリスクマネジメントの推進	BCPIに基づいた訓練の実施年1回	－	13か所	13か所	13か所
	実績	－	13か所	13か所	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 1 地域ネットワークの充実

担当課	地域包括ケア推進課、福祉総務課、 高齢福祉課
-----	---------------------------

施策（2）地域資源との連携強化

それぞれの地域にある地域特有の課題を解決していくため、目的に応じた地域ケア会議を開催するとともに、地域の住民と各種団体と連携の強化を支援するなど、地域のネットワークづくりをより一層進めていきます。

取組結果
ア 地域ネットワークの構築 高齢者よろず相談センターの支援により、第二層地域協議体を年間42回開催しました。この協議体を通じて、地域の特性に合わせた課題に対し、住民の皆様や各団体が解決に取り組めるよう支援しました。 イ 地域ケア会議の開催 全ての高齢者よろず相談センターを対象に地域診断研修を実施し、各包括が主体となって圏域ごとに地域診断を行えるように支援しました。これにより、地域の特性の把握と地域課題の抽出を進めることができました。また、個別の事例の解決に向けて地域住民を交えた個別ケア会議を円滑に開催できるよう、開催チェックリストや共通様式を作成しました。その結果、全包括で地域ケア会議個別会議を21回開催することができました。また、包括が把握した地域課題と個別ケア会議で検討した課題について、地域住民や各種団体が参加する小地域ケア会議で共有を図ることを支援した事で、小地域ケア会議を33回開催し、地域課題の共有と地域ネットワークの強化を進めることができました。
課題及び対応策
ア 地域ネットワークの構築 協議体の開催は定着しつつあるものの、参加メンバーの固定化や高齢化が進行しており、多世代を巻き込んだ新たな協力体制の構築が課題となっています。高齢者よろず相談センターの支援により継続的に第二層協議体を開催し、定期的な情報交換や住民が主体的に地域の課題解決に取り組めるよう、地域特性に応じた協議体の運営を支援し、連携体制の強化を図ります。 イ 地域ケア会議の開催 地域課題の把握及び共有は進んだものの、連携先が既存の団体等にとどまり、新たな連携先が少ない現状です。また、会議や地域活動も参加層が限定されており、若い世代も含めた住民との関りが十分に図れていないといえます。このため、企業・学校、子育て支援団体などと連携できるような、地域特性を活かした働きかけを検討していきます。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア 地域のネットワークの構築	第2層地域協議体の開催数	－	51回	53回	55回
	実績	47回	56回	42回	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
イ 地域ケア会議の開催	小地域ケア会議開催数	－	51回	53回	55回
	実績	50回	38回	33回	
	進捗状況	－	遅れている	遅れている	
ウ 町内福祉村事業	未設置地区への説明回数	－	4回	4回	4回
	実績	5回	9回	4回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	新たな活動の取組数	－	3件	3件	3件
	実績	5件	3件	3件	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	福祉啓発活動の回数	－	3回	3回	4回
	実績	3回	3回	3回	
エ 生活支援コーディネート活動	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	研修会開催数	－	3回	3回	3回
	実績	3回	2回	1回	
	進捗状況	－	予定どおり	遅れている	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 2 医療・介護連携の推進

担当課	地域包括ケア推進課
-----	-----------

施策（1）医療・介護連携推進のための支援

医師会と連携して在宅医療の充実に取り組むため、医療と介護の連携に貢献する在宅医療介護連携推進協議会を開催し、情報交換・情報共有を進めます。また、在宅生活を続けるための情報交換・情報共有や在宅での終末期についての普及啓発に努めます。

取組結果
ア 在宅医療・介護の連携支援 在宅医療・介護連携推進協議会を3回開催し、医療・介護関係者同士の情報共有や医療・介護連携の課題を抽出しました。特に、今年度は高齢者施設からの救急搬送についての課題が挙げられました。 エ 連携のためのツールの改善と普及 在宅療養中の方と医療・介護の専門職をつなぐ情報共有ツール「ひらつか安心ファイル」を、居宅介護支援事業所などへ537冊を配布し、目標値の475冊を上回り、多職種間のより良い連携につなげました。また、更なる普及のため、多職種研修において、安心ファイルを紹介しました。 ク 市民への普及啓発の実施 訪問薬局を紹介した動画を作成したほか、在宅での終末期の迎え方について考える講演会の開催や地域のイベントの参加者に在宅医療のリーフレットを配るなど、720人に啓発を行い、目標値を上回りました。 ケ 在宅介護生活サポート事業【重点事業】 ひらつか在宅介護生活サポートガイドの活用状況を把握するため、市内事業所へアンケートを実施し、課題の抽出を行いました。アンケートの結果を踏まえ、冊子の増刷や、サポートガイドの活用事例を含む研修を2回実施（参加人数は76人）しました。また、地域密着型サービスの集団指導において、サポートガイドの活用に向けた周知を行いました。
課題及び対応策
ア 在宅医療・介護の連携支援 在宅医療・介護連携推進協議会では、引き続き関係者同士の情報共有や意見交換を行い、相互理解によるスムーズな連携や課題の抽出を図ることで、更なる在宅医療と介護の連携を推進します。高齢者施設からの救急搬送についての課題に対しては、今後、関係機関と調整の上、対応策について検討していきます。 エ 連携のためのツールの改善と普及 「ひらつか安心ファイル」を活用する事業所の固定化が課題ですが、引き続き、複数回開催される多職種連携研修の場で、ひらつか安心ファイルのメリットや好事例などを紹介し、活用につながるような普及啓発を行います。 ク 市民への普及啓発の実施 市民意識調査では、終末期の迎え方を誰かに伝えたり話したりしている割合は増加傾向ですが、伝えたり話したりしていない方も約4割となっています。引き続き、講演会などを通じて積極的な普及啓発を行っていきます。 ケ 在宅介護生活サポート事業【重点事業】 サポートガイドの活用事例を医療・介護職向けの研修会等で紹介し、活用のイメージが湧くように説明を重ねていきます。また、ひらつか安心ファイルにサポートガイドを綴るなど、更なる普及に努めていきます。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア 在宅医療・介護の連携支援	開催回数	－	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	3回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ かかりつけ医療機関をもつことの推進	リーフレットを配布する医療機関等の件数	－	300件	310件	320件
	実績	284件	459件	352	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ 地域における医療と介護の連携	サービス向上検討部会支援回数	－	6回	6回	6回
	実績	6回	6回	6回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ 連携のためのツールの改善と普及	ひらつか安心ファイル配布数	－	450冊	475冊	500冊
	実績	425冊	292冊	537冊	
	進捗状況	－	遅れている	予定どおり	
オ 在宅医療・介護連携支援センターの充実	医師会理事との定例会開催数	－	12回	12回	12回
	実績	12回	12回	8回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
カ 地域の医療・介護資源の把握及び情報提供	R6実績	介護タクシー・福祉有償運送情報や医療対応が可能な介護サービス事業所の一覧表を更新しました。			
	R7実績	介護タクシー・福祉有償運送情報、医療対応が可能な介護サービス事業所の一覧表の更新、訪問看護の利用方法を記載した訪問看護Naviを作成しました。			
	R8実績				
キ 医療・介護従事者向け研修の開催及び連携に役立つ情報提供	研修開催回数	－	8回	8回	8回
	実績	8回	8回	12回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	YouTube再生回数	－	1,600回	1,700回	1,800回
	実績	－	25,623回	36,594回	
ク 市民への普及啓発の実施	地域住民の参加人数	－	500人	500人	500人
	実績	－	641人	720件	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ケ 在宅介護生活サポート事業【重点事業】	医療・介護職向け普及研修受講者数【累計】	－	30人	60人	90人
	実績	－	108人	76人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 3 認知症支援策の推進

担当課	高齢福祉課
-----	-------

施策（1）認知症理解のための普及・啓発

今後、さらに増加すると予想される認知症高齢者及び若年性認知症の方に対する市民の理解を深め、自らも認知症の予防策を学ぶとともに、地域において認知症の人がいきいきと活動し、尊厳が守られ、希望を持って自分らしく暮らし続けられるよう、市民向け講演会や交流会を開催します。

認知症サポーター養成講座を通して地域における認知症の方やその家族への支援などの理解を促進します。

取組結果

ア 本人から情報発信の推進と普及啓発活動

9月の認知症月間に合わせて、認知症について広く市民に理解してもらうため、ひらつかオレンジフェス（市民公開講座同時開催）（来場者470人）、認知症パネル展、認知症関連の本の紹介展示を行い、認知症本人の情報発信や普及啓発活動を実施しました。

TOKAIグローバルフェスタへの出展（参加者 199人）や湘南ベルマーレ等と共催して、新しい認知症観に関する普及啓発のため、ウォークイベント認知症に関するパネル展示と認知症普及啓発のためのワークショップを実施しました。

イ 認知症サポーター養成の継続及びチームオレンジの役割と支援体制の整備

市と高齢者よろず相談センターで、認知症サポーター養成講座を83回（受講者数：2,209人）開催しました。

認知症サポーター養成講座修了者を対象に、チームオレンジメンバーを養成する研修を18回（受講者：162人）行いました。チームオレンジメンバーの人数は、208人になっています。

課題及び対応策

ア 本人から情報発信の推進と普及啓発活動

新しい認知症観も含めた認知症理解のための市民への普及・啓発として、引き続きひらつかオレンジフェス、市民公開講座（ひらつかオレンジフェスと同時開催）、認知症に関するパネル展示と認知症普及啓発のためのワークショップ（TOKAIグローバルフェスタ）を開催します。また、本人ミーティングやひらつかオレンジフェスなどで認知症本人からの情報発信を推進します。

イ 認知症サポーター養成の継続及びチームオレンジの役割と支援体制の整備

高齢者よろず相談センターと市で、引き続き市民や学生、企業等に対し、認知症サポーターの養成を行います。そして、チームオレンジとして、地域の認知症支援のボランティアとして活動する場の提供を行います。若い世代も含めた正しい知識の普及啓発として、認知症だけでなく、MCI（軽度認知障害）に関する情報提供を行います。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	本人からの情報発信の推進と普及啓発活動	講演会開催回数	－	1回	1回	1回
		実績	1回	1回	1回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		パネル展示	－	2回	2回	2回
		実績	－	2回	2回	
イ	認知症サポーター養成の継続及びチームオレンジの役割と支援体制の整備	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		サポーター養成者数	－	1,890人	1,890人	1,890人
		実績	1,781人	1,949人	2,209人	
		チームオレンジ研修開催数	－	13回	13回	13回
		実績	14回	17回	18回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

計画書P60～

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 3 認知症支援策の推進

担当課 高齢福祉課

施策（2）認知症予防施策の充実

住み慣れた地域でいつまでも元気でいきいきと生活していけるように認知症予防に関する施策を充実させます。

取組結果

ア 脳とからだの体操の普及人材育成講座の実施

脳とからだの体操の普及人材育成として「脳とからだのリーダー養成講座」を養成講座 5 回開催し、参加者数は48人でした。

イ 脳いきいき講座事業

認知機能低下予防に効果的と言われている脳とからだの体操「コグニサイズ」の習慣化を目的とした 1 クール 3 か月間、全 12 回の講座を、株式会社神奈中スポーツデザインに委託して 2クール開催しました。受講者数は、前期 15 人、後期 19 人、合計 34 人です。終了後は、運動の習慣化につながったり外出の機会が増えた等の効果がありました。

課題及び対応策

ア 脳とからだの体操の普及人材育成講座の実施

脳と身体を使った体操（コグニサイズ）は認知症予防の取組の選択肢の一つであり、3 年間の取組でコグニサイズの普及人材は、一定数の養成は達成できました。今後は、各地区で、認知症地域支援推進員によるコグニサイズ教室や本人の希望に沿った認知症予防の取組を継続していきます。

イ 脳いきいき講座事業

早期から取り組み認知機能を向上させる効果を得るため、対象を認知機能検査で認知機能低下がみられる方だけでなく、物忘れが気になる等の自覚症状もある方も加え、委託事業として開催しました。そして、講座終了後も脳とからだの体操（コグニサイズ）を習慣化できるよう、地域の認知症予防教室やサロン等につなげることができました。ただ、応募者が定員に満たず市の中央会場の集団教室のニーズが少ないと思われる。

今後は、認知症地域支援推進員を中心に、高齢者が通いやすい身近な地域の場（サロンや認知症カフェ）のプログラムや個別支援を充実させていきます。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	脳とからだの体操の普及人材育成講座の実施	開催講座数	－	2講座	2講座	2講座
		実績	2講座	2講座	2講座	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		修了者数	－	30人	30人	30人
		実績	21人	67人	48人	
イ	脳いきいき講座事業	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		開催数	－	2回	2回	2回
		実績	2回	2回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		延べ参加者	－	40人	40人	40人
		実績	13人	23人	34人	
		進捗状況	－	遅れている	若干遅れている	

計画書P61～

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 3 認知症支援策の推進

担当課 高齢福祉課

施策（3）認知症に対する早期対応体制の整備

認知症の早期発見及び早期予防並びに認知症の方の早期からの権利擁護に努めるために、認知症についての相談体制及び成年後見制度の利用支援等の充実を図ります。また、認知症初期集中支援チームによる認知症の方、又は認知症が疑われる方へのアセスメントや家族支援などを行うことにより、予防・早期発見・早期対応のための仕組みづくりを推進します。

取組結果

ア 若年性認知症を含めた相談支援

市内の各高齢者よろず相談センターで受けた認知症や若年性認知症等に関する相談は総数で6,209件でした。各高齢者よろず相談センターで 1 か月あたり約 39 件の相談になります。（継続相談を含む延べ件数）

イ 認知症初期集中支援事業

高齢者よろず相談センター全体で 26 件の相談があり、うち 14 件を認知症初期集中支援事業の対象者と選定し、訪問や相談、指導、助言を行い、適切な医療機関や介護保険等につなぐことができました。

また、地域の関係団体等に対し、認知症初期集中支援チームから認知症初期集中支援事業内容、MCI や認知症の早期対応・診断・治療等について、普及啓発を行いました。

ウ 認知機能検査の実施【重点事業】

1,195 人に検査を実施し、結果により生活指導や受診勧奨、地域のサロン等の予防活動につなげることができました。

課題及び対応策

ア 若年性認知症を含めた相談支援

若い世代も含めた正しい知識の普及啓発として、認知症だけでなく、MCI（軽度認知障害）に関する情報提供も行っています。

イ 認知症初期集中支援事業

MCI からの対応を可能とし、チーム員が訪問等をする中で、本人や家族の状況を確認し、必要な医療や支援につなげるだけでなく、より専門的な支援を提供します。また、地域の関係団体等に対し、認知症初期集中支援チームから認知症初期集中支援事業内容、MCI や認知症の早期対応・診断・治療等について、普及啓発を継続していきます。

ウ 認知機能検査の実施【重点事業】

認知機能検査の新規検査者だけでなく、継続率を高め、経年的に認知機能を把握し、認知症の早期発見、早期対応に努め、受診勧奨や社会参加の場等、個々に必要な情報を提供します。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	若年性認知症を含めた相談支援	認知症に関する相談件数	－	3,200件	3,200件	3,200件
		実績	2,400件	5,800件	6,209人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ	認知症初期集中支援事業	初期介入数	－	13件	13件	13件
		実績	8件	12件	14件	
ウ	認知機能検査の実施【重点事業】	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		参加人数	－	800人	800人	800人
		実績	847人	1,208人	1,195人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活
基本施策 3 認知症支援策の推進

担当課	高齢福祉課
-----	-------

施策（4）認知症高齢者の見守り支援

認知症高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市や高齢者よろず相談センターによる見守りだけでなく、地域の住民や企業等も含めた、社会全体で見守る体制の構築を強化します。

取組結果
ア チームオレンジの体制整備【重点事業】 チームオレンジフォローアップ研修を実施しました（参加者数82人）。各地域の活動発表を行うことで、地域の認知症カフェやサロン等の活動につながることができました。また、認知症カフェ登録団体交流会（平塚保健福祉事務所、大磯町、二宮町と共催）を開催しました。参加団体は、15団体(24人)です。内容は、認知症カフェをの在り方についての講演と、グループワークを実施しました。 イ 企業との協定に基づく地域見守り活動の促進 新たに1事業者と協定を締結しました。すでに協定を締結している事業者については、取組内容や、協定内容の社員・スタッフへの意識付け等についての調査を行いました。協定に基づく事業者からの情報提供は10件あり、安否確認等迅速な対応につながりました。 ウ 認知症等行方不明SOSネットワークシステム 行方不明となった高齢者の早期発見・保護、身元確認を行うため、関係機関と情報を共有する認知症等行方不明SOSネットワークシステムを運用し、家族等からの申込みにより事前登録を行いました。 オ ミーティングセンター及び認知症カフェの設置と運営支援 認知症の人と家族への一体的支援プログラムに取り組むミーティングセンターに、運営にかかる費用の一部助成を行いました。申請団体数は3団体です。また、認知症の人やその家族と地域の方が住み慣れた地域で、仲間づくりや生きがい支援、専門職等と相互に情報交換し、安心して集える居場所として、認知症カフェをホームページ等で広く市民に周知を行いました。認知症カフェは18カ所になっています。このうち、企業と連携して開設した認知症カフェは3カ所で、軌道に乗るまで立ち上げ運営支援を行いました。全体で合計回数213回開催され、参加者数は延べ3,112人となりました。

課題及び対応策
ア チームオレンジの体制整備【重点事業】 等 高齢者よろず相談センターでのチームオレンジメンバーへの研修や活動の場の提供を継続します。チームオレンジメンバーの高齢化も課題になっているため、企業や認知症疾患医療センターと協力し、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等の社会資源の場を作っていきます。 イ 企業との協定に基づく地域見守り活動の促進 社会全体で見守る体制の構築には継続的な事業者の見守りが不可欠なため、協定を締結している事業者への調査を定期的に行い、見守りの意識の継続を図り、見守り活動の促進につなげます。また、新規事業者の開拓も引き続き行います。 ウ 認知症等行方不明SOSネットワークシステム 事前登録の周知が課題です。事前登録が行方不明時に迅速な対応につながるため、広報やホームページ等周知方法を検討し、ネットワークシステムの活用につなげていきます。 オ ミーティングセンター及び認知症カフェの設置と運営支援 本人の意欲向上及び家族の介護負担感の軽減と家族関係の再構築を図るため、ミーティングセンターの団体等を支援することを目的に、運営にかかる費用の一部を助成する取り組みを継続します。また、認知症カフェについて、広く市民に周知したり、新たな企業と連携した認知症カフェ等の運営を支援します。

【事業】		事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	チームオレンジの体制整備【重点事業】	チームオレンジフォローアップ研修	実績	－	1回	1回	1回
			進捗状況	－	1回	1回	
			協定締結数	－	16カ所	17カ所	18カ所
イ	企業との協定に基づく地域見守り活動の促進		実績	16カ所	16カ所	17ヶ所	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
			新規登録者数	－	40人	40人	40人
ウ	認知症等行方不明SOSネットワークシステム		実績	43人	30人	52人	
			進捗状況	－	若干遅れている	予定どおり	
			利用者数	－	40人	40人	40人
エ	認知症等行方不明SOS見守りGPS貸与事業		実績	36人	延べ40人	延べ37人	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
			ミーティングセンター設置数	－	2カ所	2カ所	2カ所
オ	ミーティングセンター及び認知症カフェの設置と運営支援		実績	2カ所	3カ所	3カ所	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
			交流会開催数	－	1回	1回	1回
			実績	1回	1回	1回	
			進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 4 高齢者生活支援体制の構築

担当課	高齢福祉課、福祉総務課、収集業務課、交通政策課
-----	-------------------------

施策（1）生活の安心・安全確保

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は増加傾向にあり、地域における安否確認や見守り体制の強化が必要となってきました。ひとり暮らし高齢者等が安心して住み慣れた地域で暮らすことができるよう、高齢者の日常活動についての援助や支援、経済支援等につながる事業を推進し、その周知に努めます。

取組結果
ウ 軽作業代行事業 等 高齢者単身世帯・高齢者のみ世帯に対して、軽作業代行（利用者44人・延べ利用時間176時間）や通院介助（利用者12人・延べ利用時間129時間45分）等による生活の支援を実施するとともに、お話し見守りケータイ（233件）や在宅緊急通報システム（52人）の貸与により市民の安心感を高めることができました。 コ 高齢者サービス情報提供の充実 高齢者を対象とするサービスについて、「高齢者のためのガイドブック」の発行（年間3千部）やホームページへの掲載、高齢者よろず相談センターへの情報提供、「広報ひらつか」への紹介記事掲載等により、多くの市民に周知し、更なる利用促進を図りました。
課題及び対応策
ウ 軽作業代行事業 等 介護保険適用外のサービスの質向上を図るために、高齢者の更なるニーズ把握や地域資源の状況等を考慮しながら、委託事業者や高齢者よろず相談センターとのコミュニケーションを繁茂に取るようにします。また、機器を通じた見守り体制により、見守る側の安心確保と対象者の日常生活上の不安軽減を図ります。 コ 高齢者サービス情報提供の充実 多くの市民に高齢者向けサービスを認知・利用してもらえるように、「広報ひらつか」への案内記事の掲載や高齢者よろず相談センター等の関係機関と協力して、より広く深い周知を図ります。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア お話し見守り歩数計（ひらつかミルック）事業	設置数	－	300件	310件	320件
	実績	266件	253件	233件	
	進捗状況	－	若干遅れている	若干遅れている	
イ 在宅時緊急通報システム事業	設置者数	－	80人	85人	90人
	実績	81人	57人	52人	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
ウ 軽作業代行事業	利用者数	－	60人	75人	90人
	実績	46人	47人	44人	
	進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
	延べ利用時間	－	360時間	450時間	540時間
	実績	246時間	188時間	176時間	
エ 通院介助事業	進捗状況	－	遅れている	遅れている	
	利用者人数	－	15人	20人	20人
	実績	10人	15人	12人	
	進捗状況	－	予定どおり	遅れている	
	延べ利用時間	－	115時間	155時間	155時間
オ 高齢者・障がい者のごみの戸別収集事業	実績	78時間	92時間	140時間	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	利用者	－	170人	185人	200人
	実績	155人	191人	184人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
カ 福祉有償運送事業	福祉有償運送事業者への支援数	－	1回	2回	2回
	実績	－	2回	2回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	地域内移送支援地区数	－	3地区（4カ所）	4地区（5カ所）	4地区（5カ所）
キ 住民主体地域内移送推進事業	実績	延べ3カ所	3地区（4カ所）	3地区（4カ所）	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
	導入台数	－	1台	1台	2台
	実績	2台	5台	5台	
ク ノンステップバス推進事業	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ケ ユニバーサルデザインタクシー推進事業	導入台数	－	11台	11台	7台
	実績	2台	13台	26台	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
コ 高齢者サービス情報提供の充実	「ガイドブック」の発行	－	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	1回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 4 高齢者生活支援体制の構築

担当課	高齢福祉課
-----	-------

施策（2）要介護者及び家族介護者への支援

要介護者、また、在宅で介護している家族の身体的、精神的、経済的負担を軽減するための支援を行います。

取組結果
ア ふとん乾燥・丸洗い事業 等 在宅のねたきり高齢者に対して、ふとん乾燥・丸洗いや訪問理容美容サービスを実施し、健康で衛生的な生活の維持を図りました。 ウ 家族介護用品支給事業 等 在宅で要介護高齢者を介護する家族の経済的負担の軽減を図るために「家族介護用品支給事業」、介護の知識・技術習得による心身の負担軽減につながりリフレッシュできる「家族介護教室」や、家族介護者が何らかの理由で介護できなくなった際の「家族介護者支援短期入所事業」等による支援を行いました。
課題及び対応策
ア ふとん乾燥・丸洗い事業 等 要介護者や家族介護者の負担軽減を図る事業をより多くの対象者やその家族に利用してもらえるように、「広報ひらつか」への案内記事の掲載や高齢者よろず相談センター等の関係機関と協力して広く周知を図ります。 ウ 家族介護用品支給事業 等 「家族介護用品支給事業」においては、国による継続可否が検討されていることを踏まえ、基準の改訂・事業の在り方などについて具体的に検討していきます。また、家族介護教室については各回の内容によっては参加者数に差があるため、今までの傾向から内容（テーマ）を各事業者とともに再考し、参加人数増を図ります。

【事業】

事業名	事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア ふとん乾燥・丸洗い事業	利用者数	－	20人	25人	30人
	実績	20人	24人	21人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	延べ実施枚数	－	180枚	220枚	260枚
	実績	180枚	189枚	149枚	
	進捗状況	－	予定どおり	若干遅れている	
イ ねたきり高齢者等訪問理容・美容サービス	交付者数	－	130人	130人	130人
	実績	121人	168人	173人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	延べ利用回数	－	270回	270回	270回
	実績	272回	410回	413回	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ 家族介護用品支給事業	利用者数	－	35人	40人	40人
	実績	38人	68人	47人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ 家族介護教室	教室の開催（各回違うテーマで実施）	－	市内3会場にて計6回開催	市内3会場にて計6回開催	市内3会場にて計6回開催
	実績	市内3会場にて計5回開催	市内3会場にて計6回開催	市内2会場にて計6回開催	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
オ 家族介護者支援短期入所事業	利用者数	－	10人	10人	10人
	実績	0人	0人	0人	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
	延べ利用日数	－	80日	80日	80日
	実績	0日	0日	0日	
	進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活
基本施策 5 高齢者居住安定確保の推進

担当課	高齢福祉課
-----	-------

施策（1）良質な高齢者向け住まいの供給促進

特別養護老人ホームなどの施設の充実を図るとともに、サービス付き高齢者向け住宅等、良質な高齢者向けの住まいの供給を促進します。

取組結果
<u>ア 多様な住まい供給促進事業</u> 計画に基づいて整備をする認知症対応型グループホームは、公募で選定した事業者が着工し、令和8年度中の整備完了予定となっています。7年度末の進捗は約5%です。有料老人ホーム等については、神奈川県の実施要綱に定められた事業者からの施設整備に伴う事前相談を行い、適切な施設整備が行われるよう助言しました。
課題及び対応策
<u>ア 多様な住まい供給促進事業</u> 将来の高齢者人口や介護ニーズ等を勘案し、高齢者向け住宅や介護サービス基盤を計画的に確保していく必要があります。立地、医療・介護サービスとの連携体制等を踏まえた高齢者向け住宅の適切な整備が実施されるよう県と連携するとともに、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の設置状況等について市民へ情報提供を実施します。また、特別養護老人ホームについては、当計画において、ショートステイ用の床から本入所用の床への転換数25床としておりましたが、1事業所の未了により計画数に達していません。引き続き、事業所に完了を促し、進捗を管理します。認知症対応型グループホームについては、令和7年度中の整備完了を計画しましたが、事業者の調査企画業務の遅延により整備完了予定が遅れています。引き続き、進捗管理を行います。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	多様な住まい供給促進事業	R6実績	計画に基づき、特別養護老人ホームについては、過不足の調整のためショートステイ用の床から本入所用の床への転換を23床分行いました。また、認知症対応型グループホームについては、令和8年度中の整備完了に向け、新規整備事業者を公募しました。有料老人ホーム等については、神奈川県の実施要綱に定められた事業者からの施設整備に伴う事前相談を行い、適切な施設整備が行われるよう助言しました。			
		R7実績	計画に基づいて整備をする認知症対応型グループホームは、公募で選定した事業者が着工し、令和8年度中の整備完了予定となっています。7年度末の進捗は約5%です。有料老人ホーム等については、神奈川県の実施要綱に定められた事業者からの施設整備に伴う事前相談を行い、適切な施設整備が行われるよう助言しました。			
		R8実績				

基本目標 2 住み慣れた地域で安心のある生活

基本施策 5 高齢者居住安定確保の推進

担当課	高齢福祉課、建築住宅課
-----	-------------

施策（2）高齢者が円滑に入居できる体制づくり

高齢者の多様なニーズに応じて、その必要とする住まいや施設に円滑に入居できるような体制づくりを行います。

取組結果
<u>ア 高齢者の住まいについての相談体制づくり</u> 高齢者の住み替えニーズや売却、立ち退き等の要望について、年4回の高齢者住まい探し相談会にて14人の相談に対応しました。また、高齢者よろず相談センターにおいて施設に関する相談等個別に対応しました。
課題及び対応策
<u>ア 高齢者の住まいについての相談体制づくり</u> かながわ住まいまちづくり協会や高齢者よろず相談センターと連携し、相談会以外でも高齢者の幅広い住まいに関するニーズに対応できる体制を整えます。

【事業】

事業名		事業量	R 4	R 6	R 7	R 8
ア	高齢者の住まいについての相談体制づくり	相談会開催数	－	4回	4回	4回
		実績	4回	4回	4回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
		相談者数	－	20人	20人	20人
		実績	17人	19人	14人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
イ	高齢者居住支援事業	連携会議開催数	－	1回	1回	1回
		実績	－	1回	2回	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
ウ	市営住宅へ的高齢者居住支援	高齢者等への優遇枠の設置	－	募集戸数の1割程度	募集戸数の1割程度	募集戸数の1割程度
		実績	募集戸数の1割程度	募集戸数31戸 ○高齢者等への優遇戸数：4戸 12.9%	募集戸数40戸 ○高齢者等への優遇戸数：9戸 22.5%	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	
エ	養護老人ホームへの入所	被措置者数	－	70人	70人	70人
		実績	70人	72人	73人	
		進捗状況	－	予定どおり	予定どおり	